第１回　進路説明会

令和７年６月５日（木）

守口市立八雲中学校

１．進路先について　…Ｐ２

２．進学校決定のパターン（専願、併願について）　…Ｐ４

３．志望校決定から受験までの流れ　…Ｐ５

４．進路希望調査・三者懇談について　…Ｐ７

５．体験入学・オープンスクールについて　…Ｐ８

６．外部の模試について　…Ｐ８

７．公立高校受験について　…Ｐ９

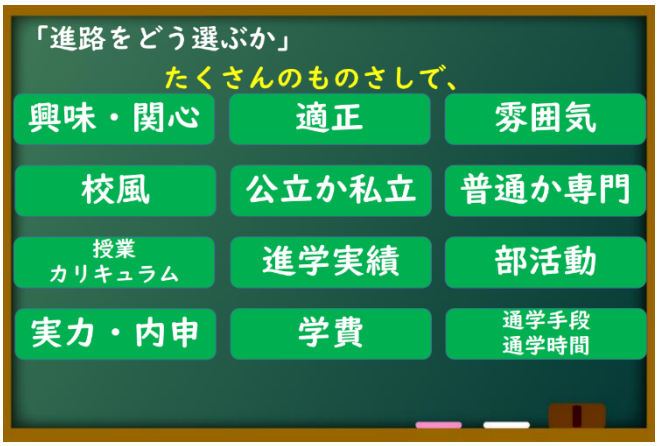
８．学費について　…Ｐ１８

※この冊子は八雲中ＨＰにも掲載しています。
各リンクにアクセスできますので、ご活用下さい。
また、今後の情報はお手紙や COCOO などで連絡します。

八雲中　進路のページはこちらをクリック
または、こちらのＱＲコードよりアクセスして下さい。

Ⅰ．進路先について

それぞれが自分の進路を決断することは、中学校卒業時の進路を決定するという意味だけではなく、自分の未来につながる選択をすることでもあります。どのような進路を選択していくのか、色々な観点を踏まえつつ、ご家庭でよく相談しながら、話を進めてください。



私立高校

学校独自の校風があり、男女別学の学校がある。宗教的背景、施設設備等のほか、大学付属校の場合、その大学への進学に便宜が図られる場合が多い。公立高校に比べて費用がかかることがほとんど。来年度入学の学年より授業料無償化。入試は２月上旬(今年度は１０日～)に行われ、方法は各高校によって異なる。
（5 教科入試 or3 教科入試、当日の試験重視 or 内申点重視、面接の有無など）
※一部別日程で実施する学校や２日目に面接などを実施する学校があります。

※大阪私立高校連合会のＨＰは[こちらをクリック]
（授業料無償化制度や学校説明会などの情報が掲載されています）

※↓私立高校紹介冊子のデジタルブックは[こちらをクリック]（各校の案内が掲載されています。※昨年度版）

↑大阪私立学校展のページ
（合同説明会の開催のお知らせあり、制服 AR 試着もできます）

公立高校

大阪府立の学校である。特別選抜と一般選抜に分かれている。

【特別選抜】実技または面接試験を実施する高校のみ（２月に入試を実施）

体育科（桜宮、汎愛、摂津など）
デザイン科(工芸)
総合造形科（港南造形）
エンパワメントスクール（成城、淀川清流など）
その他専門学科（グローバル探求科、演劇科、美術科など）

【一般選抜】(3 月に入試を実施)

普通科（守口東、門真西、寝屋川、旭、いちりつ、東、桜宮、汎愛など）
総合学科（芦間、門真なみはや、枚方なぎさ、柴島など）
工業科（淀川工科、都島工業、城東工科など）
商業科（鶴見商業など）
文理学科（北野、大手前、四條畷、高津など）
その他専門学科（理数科、英語科、国際文化科など）の大多数
通信制（桃谷）

その他

○大阪公立大学工業高等専門学校…修業年限が５年で、工業等を専門に学ぶ。卒業後、大学３年への編入が可能。また、専攻科に進学すれば大学卒業資格が取得可能。
選抜方法は小論文と面接による特別選抜と学力検査による選抜の２種類。
(2027 年度以降より大阪公立大学 中百舌鳥キャンパスに移転予定)

○高等専修学校・専門学校…様々な資格を取得するなど、専門的な分野を学ぶ。私立通信制高校と併修で高卒資格を取得できる学校がある。
※大阪府内の高等専修学校一覧はこちらをクリック

○支援学校・高等支援学校
※大阪府支援学校の入試に関する情報はこちらをクリック
大阪府高等支援学校の入試に関する情報はこちらをクリック
守口支援学校のＨＰはこちらをクリック

○就職(縁故やハローワーク)や高等職業技術専門校(専門技術の訓練を受け、就職へ)

※上記以外の進路選択もありますので、後日データ配信される予定の「進路のてびき」を参考にして下さい。

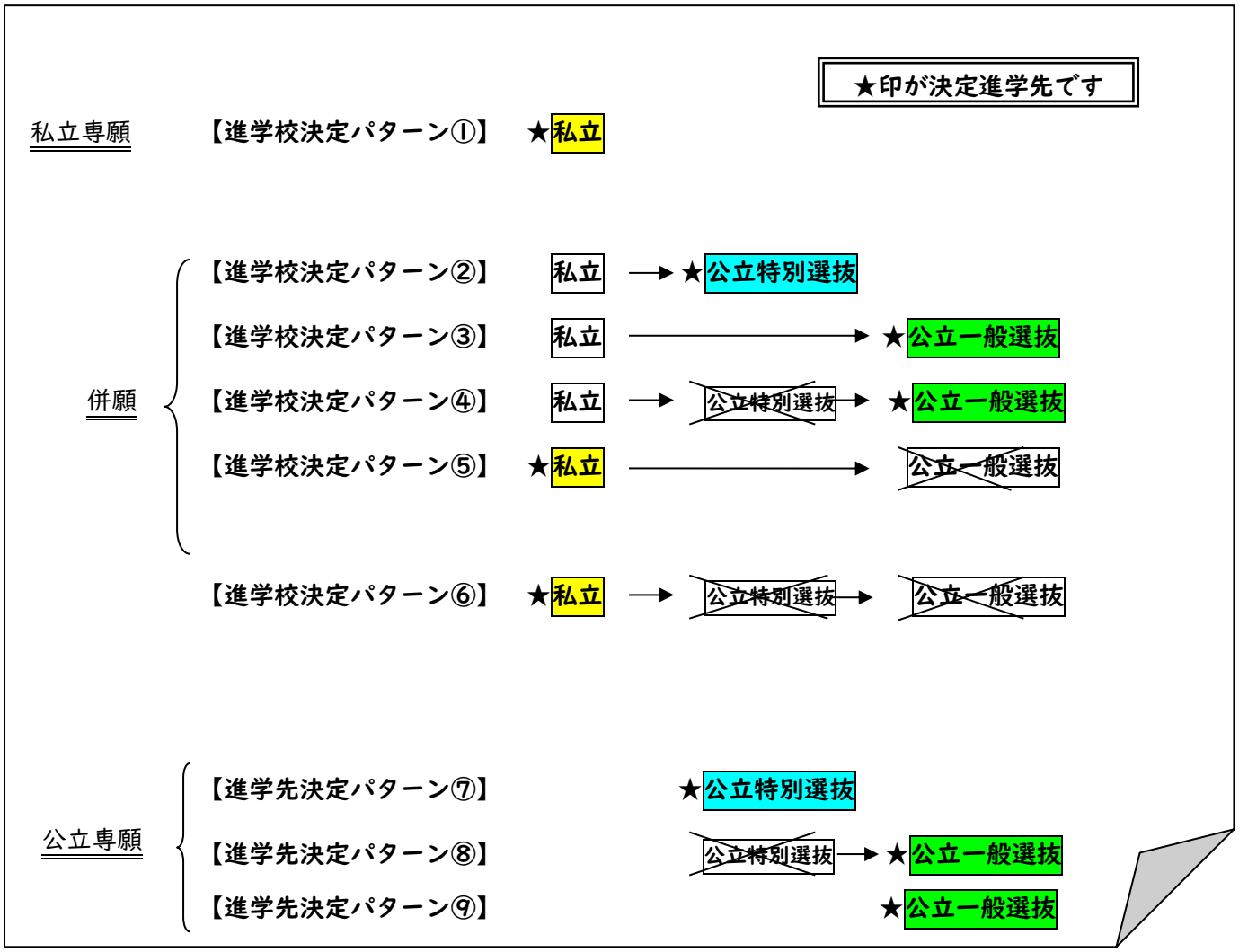
２．進学校決定のパターン

○私立専願…その学校に必ず行くことを前提として受験する方法。（併願より優遇）

○併願　　…公立高校を本命として、私立高校も受験する方法。

（両方合格した場合は、必ず公立に進学。公立高校が不合格のとき、私立高校に必ず行くことが原則）

○公立専願…公立高校を本命として、公立高校のみを受験する方法。



3、志望校決定から受験までの主な流れ(R7.6.5 時点)

	公立高校		私立高校、専修学校等	支援学校等	学校行事
	特別選抜	一般選抜			
6月					5/30(金)実力テスト① 18(水)～20(金) 期末テスト
7月	8(火)～12(金) 三者懇談 現時点での考えを基に進路について相談				8(火)～11(金) 三者懇談
8月	オープンスクール等へ各自で参加しましょう！				27(水)実力テスト②
9月					2(火)チャレンジテスト
10月					3(金)中間テスト 27(月)実力テスト③
11月	10(月)～14(金) 三者懇談 (私立専願の場合) 私立専願校の相談 (併願・公立専願の場合)公立受験校・私立併願校の相談			支援学校教育相談	10(月)～14(金) 三者懇談 17(月)～19(水) 期末テスト
12月	5(金)～10(水) 三者懇談 (私立専願の場合) 私立専願校の決定 (併願・公立専願の場合)公立受験校の相談(ほぼ決定) 私立併願校の決定 懇談後、公立出願の初期登録				1(月)進路説明会② 5(金)～10(水) 三者懇談
1月	(冬休み中)私立出願準備 Web 出願の高校…PC 等で情報入力 紙出願…願書を取り寄せ				上旬 私学願書作成 14(水)実力テスト④ 21(水)～23(金) 卒業テスト
	1/23(金) 私立高校出願予定日（卒業テスト最終日 昼～） ※直接持参の高校のみ				
	1/下旬 二者面談 受験校決定		1/中旬～2/上旬 面接練習	1/23～出願	

	公立高校		私立高校、専修学校等	支援学校等	学校行事
	特別選抜	一般選抜			
2月	2/10(火) 私立入試（一部高校は 2/11 面接有）翌日以降発表				上旬 公立特別選抜出願準備
	2/16(月)～ 出願	2 月上旬 二者面談 受験校決定	私立 1.5 次募集 2 月上旬発表	知的障がい高等支援 共生推進教室	中旬 公立一般選抜出願準備
	2/19(木)入試 2/20(金) 実技 or 面接				
3月	3/2(月) 発表	3/4(水)～ 出願		知的障がい高等支援 共生推進教室	14(土)卒業式
		3/11(水) 入試			
		3/19(木) 発表		3/12(木) 検査 3/16(月) 発表	
	3/24(火) 2 次出願 3/25(水) 面接 3/26(木) 発表		3 月中旬 2 次 募集		

※あくまで目安です。各学校の正確な日程を
募集要項やＨＰなどで確認して下さい。

4、進路希望調査・三者懇談について（担任、生徒、保護者）

＜進路希望調査＞

学期に２～３回程、進路希望調査をお子さまにお配りさせてもらいます。その時点での進路先の希望をご記入ください。くれぐれも提出期限内のご提出をお願い致します。

お子さまにお配りした日に Cocoo でも案内をさせて頂きます。

＜三者懇談＞

公立受験、私学受験（専願か併願、学科・コースなど）、高等専修・専門学校、就職希望など、その時点での希望を聞かせて下さい。また、質問や疑問に思っていることは、遠慮なく担任にご相談下さい。

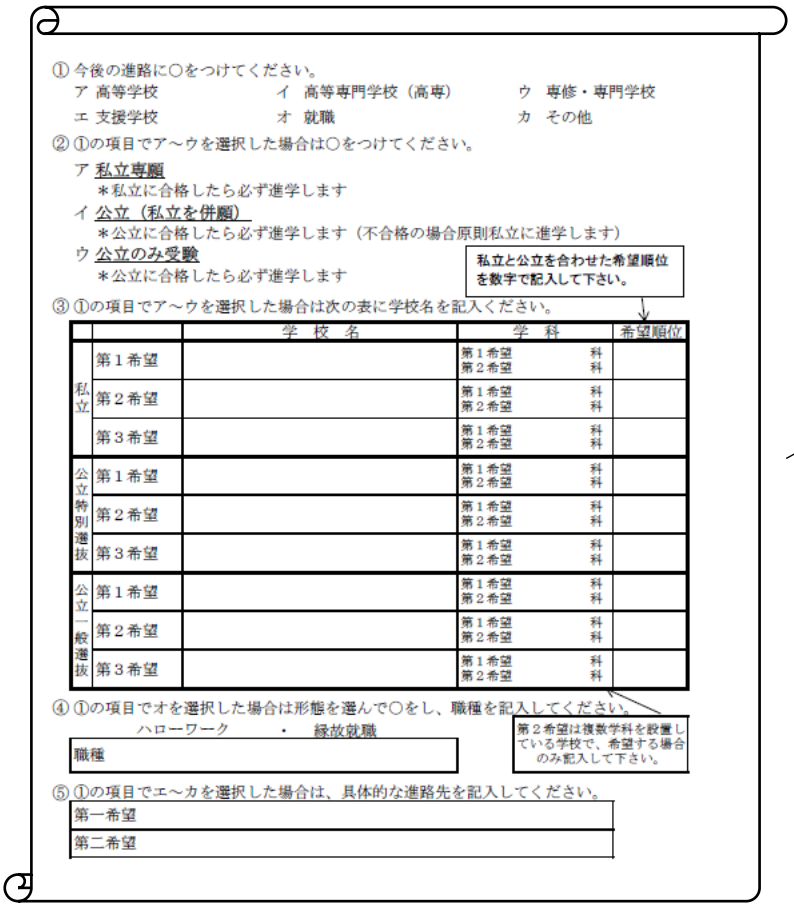
7 月三者懇談…希望進路をもとに相談

11 月三者懇談…私学受験校　公立受験校の相談（何校かにしぼる、方向性を決定）

12 月三者懇談…私学受験校　決定（冬休み～1 月上旬にかけて私立高校の先生と進路相談をします。
そのため、12 月懇談で私学受験校は確定させる必要があります。）

公立受験校　ほぼ決定

※公立特別選抜受験校は 1 月下旬までに決定、
公立一般選抜受験校は 2 月の二者面談（担任と生徒）までに決定します。



① 今後の進路に○をつけてください。
ア 高等学校　イ 高等専門学校（高専）　ウ 専修・専門学校
エ 支援学校　オ 就職　カ その他

② ①の項目でア～ウを選択した場合は○をつけてください。
ア 私立専願
＊私立に合格したら必ず進学します
イ 公立（私立を併願）
＊公立に合格したら必ず進学します（不合格の場合原則私立に進学します）
ウ 公立のみ受験
＊公立に合格したら必ず進学します

私立と公立を合わせた希望順位を数字で記入して下さい。

③ ①の項目でア～ウを選択した場合は次の表に学校名を記入ください。

		学校名	学科	希望順位
私立	第１希望		第１希望 科 第２希望 科	
	第２希望		第１希望 科 第２希望 科	
	第３希望		第１希望 科 第２希望 科	
公立特別選抜	第１希望		第１希望 科 第２希望 科	
	第２希望		第１希望 科 第２希望 科	
	第３希望		第１希望 科 第２希望 科	
公立一般選抜	第１希望		第１希望 科 第２希望 科	
	第２希望		第１希望 科 第２希望 科	
	第３希望		第１希望 科 第２希望 科	

第２希望は複数学科を設置している学校で、希望する場合のみ記入して下さい。

④ ①の項目でオを選択した場合は形態を選んで○をし、職種を記入してください。
ハローワーク　・　縁故就職
職種

⑤ ①の項目でエ～カを選択した場合は、具体的な進路先を記入してください。
第一希望
第二希望

本日、お配りしている昨日調査用紙の内容です。ご家庭で相談の上、現時点でのお考えをご記入ください。第１回の提出〆切は 6/12(木)になります。

５．体験入学・オープンスクールについて

中学校に案内が届いているものに関してはチラシを配布し、一覧にまとめたものをお子さまの iPad で確認できるようにしておりますが、全ての高校の情報が届くわけではありません。気になる学校は是非、ご自身でもホームページ等で調べてください。なお、志望校決定に役立てるために３校は体験入学への参加を推奨します。

＜申し込み方法＞

申し込み方法や実施時期は各高校のホームページやパンフレット、八雲中から配布される高校説明会案内プリントを参照。

〇公立高校…八雲中学校で受付を行う。　※一部高校に直接申し込むようになっている場合がある。

〇私立高校…直接高校に申し込む。

※実施日程はこちらのページも参考にして下さい

（※R7.6.4 時点では昨年度のもの。後日、今年度の内容で更新されると思います）

※金銭面の話もあるので保護者もできれば参加して下さい。一部八雲中集約の場合もあります。

オープンスクール・入試説明会・学校説明会(私立高校版) 案内

※高校のホームページをしっかりと閲覧しましょう ※募集定員を設けている学校もありますので、早めに申し込みましょう。 ※質問があれば学年の先生に聞いてください。 ※自分の予定を確認したうえで申し込みすること。				最終更新日5月27日（火）		
学校名	実施内容	実施日		時間帯	申し込み方法	その他
学研ＩＬＬ学園 駿台甲府高等学院 トライ式高等学院						
進学ガイダンス2026	講演＆学校紹介 個別相談会 （参加校はWeb参照）	5/25	日	10:30~16:00	Web	
京都芸術高等学校	美術体験教室	6/21	土	9:00~12:00 13:30~16:30	Web	
大阪高等学校	オープンスクール	8/30、9/20、10/25、11/23、12/13		10:00~/14:00~	Web	
	さきどり講座体験会	6/21	土	14:00~		
	個別相談会	11/19、20、21		19:00~		
	保護者対象学校説明会	9/13、10/11、11/15、11/29		13:30~		
	塾長説明会	7/23、9/12		10:30~		

↑中学校に案内が届いているものは、お子さまの iPad より確認することが出来ます(Teams にて)

６．外部の模試について

中学校でも実力テストを行いますが、自分の学習内容の理解度に対する確認や、学年や過去の卒業生と比較するなどのあくまで校内のデータになります。受験生全体の中での立ち位置や、志望校への判定を出すための外部模試が様々なところで実施されていますので、活用についてもご家庭でご検討ください。

7.公立高校受験について

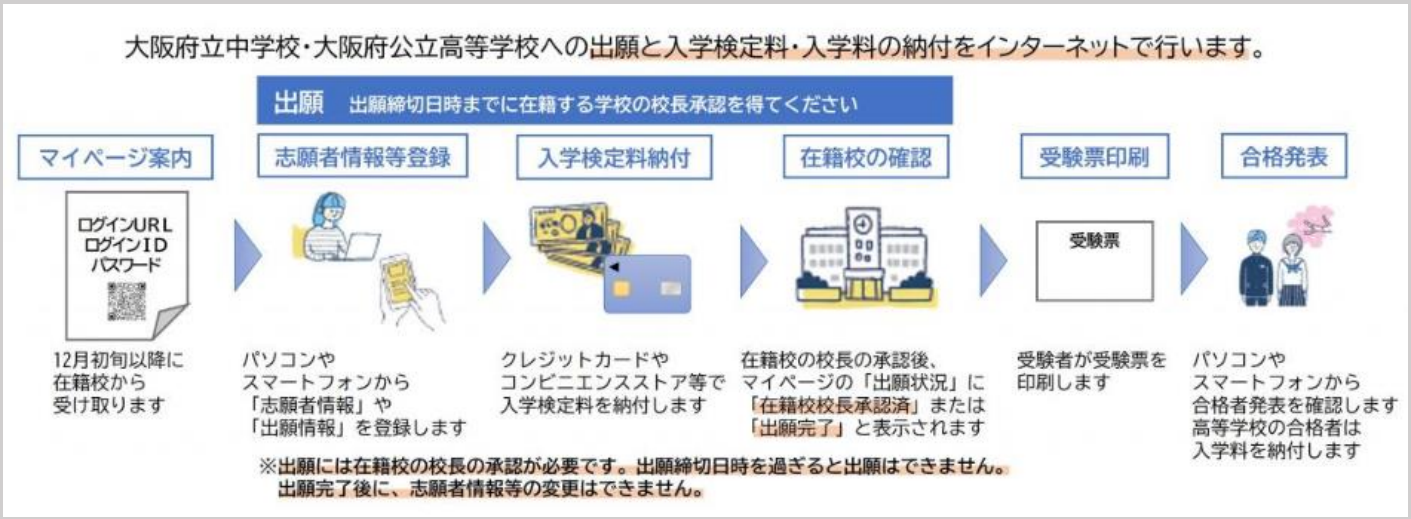
※令和８年度大阪府公立高校入試の最新情報はこちらをクリック

①令和８年度大阪府公立高等学校等入学者選抜　日程表

高等学校

	選抜の種類		出願期間	学力検査等	合格者発表
特別入学者選抜	全日制の課程	・工業に関する学科（建築デザイン科・インテリアデザイン科・デザインシステム科・ビジュアルデザイン科・映像デザイン科・プロダクトデザイン科） ・総合造形科　・美術科　・体育に関する学科 ・グローバル探究科　・演劇科　・芸能文化科	2月16日(月)から2月17日(火)まで	学力検査 2月19日(木) 実技検査 2月20日(金)	3月2日(月)
		・音楽科	2月3日(火)から2月4日(水)まで	視唱、専攻実技 2月14日(土) 学力検査、聴音 2月19日(木)	
		・総合学科（エンパワメントスクール）	2月16日(月)から2月17日(火)まで	学力検査 2月19日(木) 面接 2月20日(金)	
		・総合学科（ステップスクール）		学力検査 2月19日(木) 面接 2月20日(金)、24日(火)のうち一日	
	多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部（クリエイティブスクール） 昼夜間単位制			学力検査 2月19日(木) 面接 2月20日(金)	
大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜				学力検査 2月19日(木) 面接 2月20日(金)	
海外から帰国した生徒の入学者選抜				学力検査、面接 2月19日(木)	
日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜				学力検査、作文 2月19日(木)	
知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜				面接 2月19日(木)、20日(金)、24日(火)のうち一日	
一般入学者選抜	全日制の課程	・普通教育を主とする学科（普通科単位制高等学校を含む。）　・農業に関する学科 ・工業に関する学科（特別選抜実施学科を除く。） ・商業に関する学科　・グローバルビジネス科 ・食物文化科　・福祉ボランティア科　・理数科 ・総合科学科　・サイエンス創造科　・英語科 ・国際文化科　・グローバル科　・文理学科 ・教育文理学科 ・総合学科（クリエイティブスクールを含み、エンパワメントスクール及びステップスクールを除く。）	3月4日(水)から3月6日(金)まで	学力検査等 3月11日(水)	3月19日(木)
	定時制の課程				
	通信制の課程		3月2日(月)から3月4日(水)まで	面接 3月8日(日)、9日(月)、10日(火)のうち一日	
二次入学者選抜（実施校がある場合）			3月24日(火)	面接 3月25日(水)	3月26日(木)
知的障がい生徒自立支援コース補充入学者選抜（実施校がある場合）					
秋季入学者選抜			令和8年9月7日(月)	小論文、面接 令和8年9月10日(木)	令和8年9月16日(水)

※昨年度より、オンライン出願が始まっております。具体的な操作や準備に関しては、１２月１日(月)に予定しております第２回進路説明会にてご案内させていただきます。



②自己申告書について（公立高校のみ）　自己申告書が出願時に必要です

【テーマ】
あなたは、中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。

各学校のアドミッションポリシー（求める生徒像）を参照し、作成します。

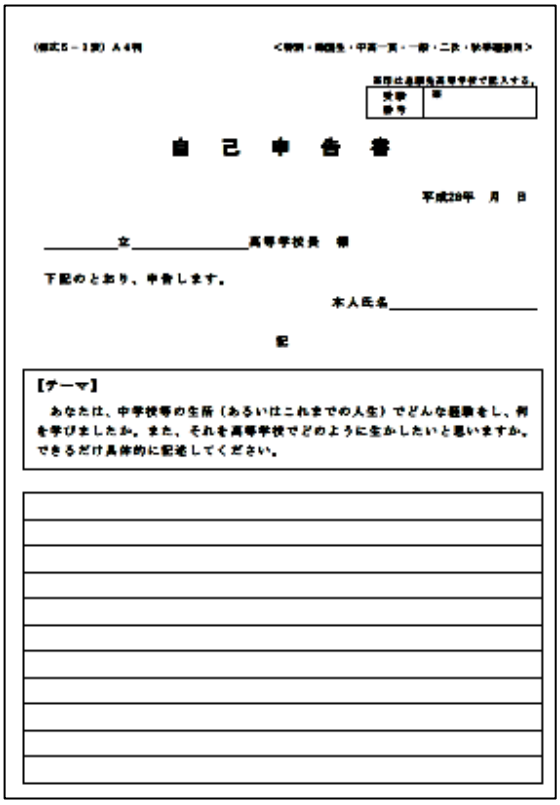
→令和７年度(昨年度)の各高校アドミッションポリシー一覧はこちらをクリック

【例　守口東高校のアドミッションポリシー】

守口東	本校では、「衣を正し、時を守り、場を清める、そして自分を磨く」のキーワードのもと、社会人として通用する規律、基礎学力を身につけることを教育活動の基本としています。また生徒の『脳力開花』を目標として、授業では「解る」「創る」「伝える」を実践し、これからの多様な社会を乗り越える力を育成します。そして他者理解と思いやりを大切にする心を育む活動に取り組むことができ、個性豊かな成長を求めながら、自分を大切にすることができる生徒を望んでいます。 1) 中学校での活動（学級活動・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等）において積極的に取り組んだ実績がある生徒、特に入学後も活動を継続する意志を強く持っている生徒 2) 中学校での平素の学習活動において成果があり、本校志望の意志が強く、入学後も自ら進んで学習に取り組み、本校のめざす『脳力開花』を実践していく生徒 3) 本校生徒であることに誇りを持ち、規律ある行動ができる生徒 4) 他者理解と思いやりの気持ちを持ち、協働の精神を行動で示すことができる生徒

10

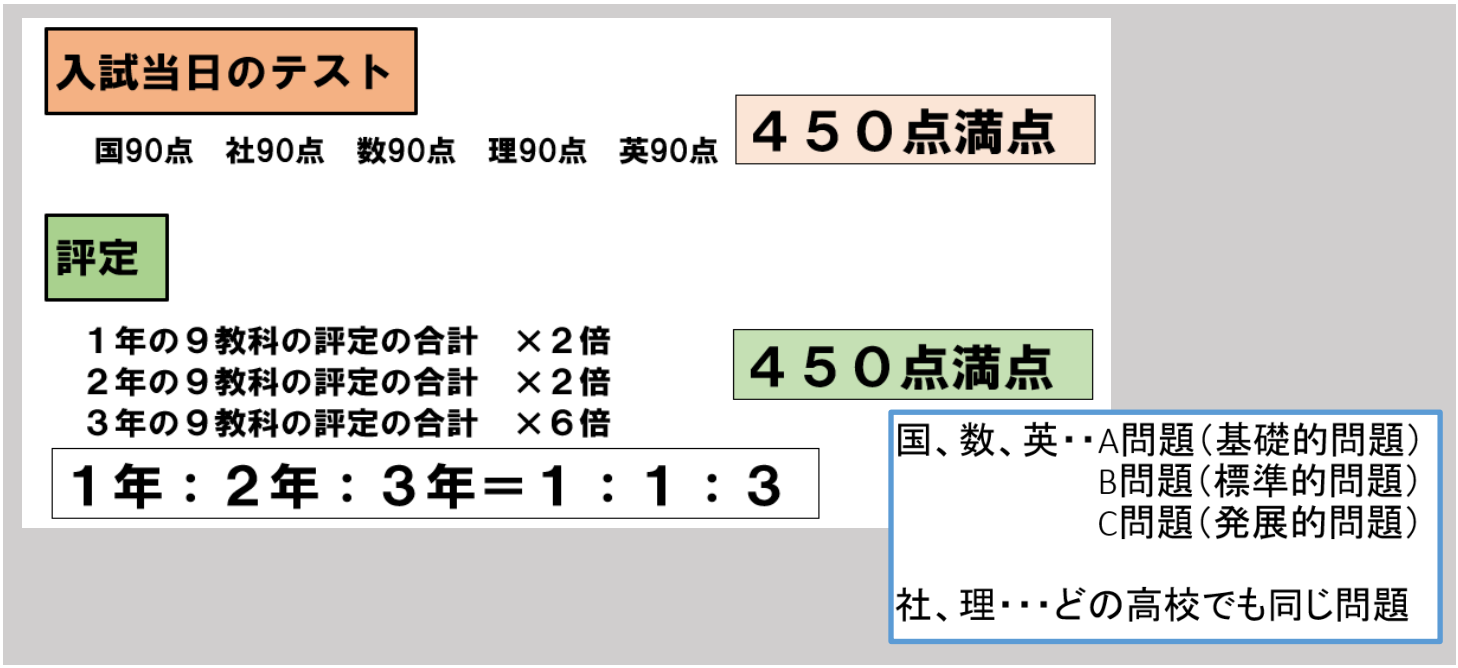
自己申告書(縮小版) A4 裏表です


自　己　申　告　書

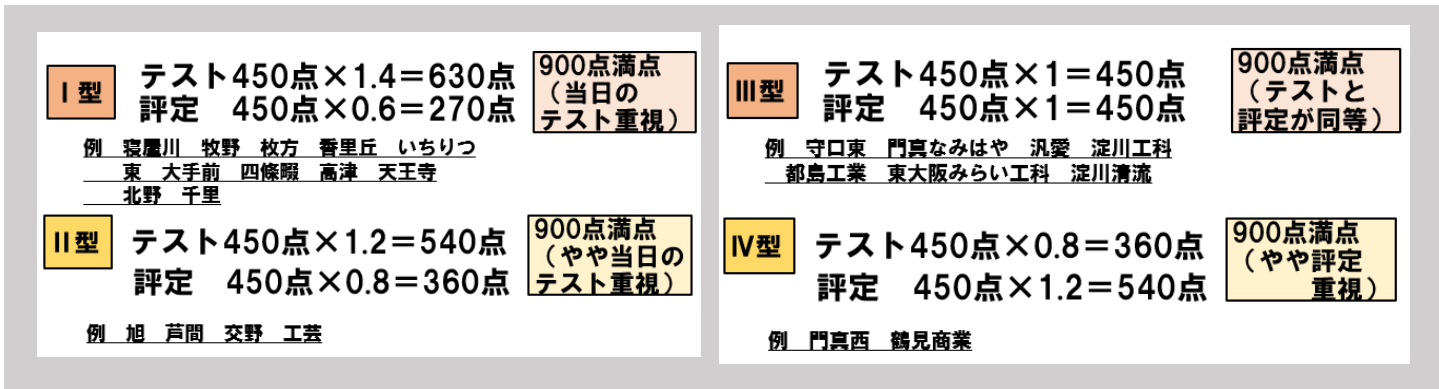
【テーマ】
あなたは、中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。

③入学者選抜方法について

大阪府の高校入試は、学力検査（450 点満点）と内申点（450 点満点）の合計で合否判定されます。学力検査は国語、数学、英語、理科、社会の 5 教科で、各 90 点配点です。内申点は、中 1 から中 3 までの成績が評価され、中 3 の成績が最も重視されます。当日の学力検査問題（テスト）は国語・数学・英語に関して、A～C 問題の３種類あります。各学校によって扱う問題が違い、毎年変わります(例年７月ごろに公表)。社会・理科は全ての高校で同じ問題です。また英検２級以上を取得している場合は入試の加点対象となりますので、その際は担任まで申し出て下さい。　→令和 7 年度(昨年度)の検査問題一覧はこちらをクリック



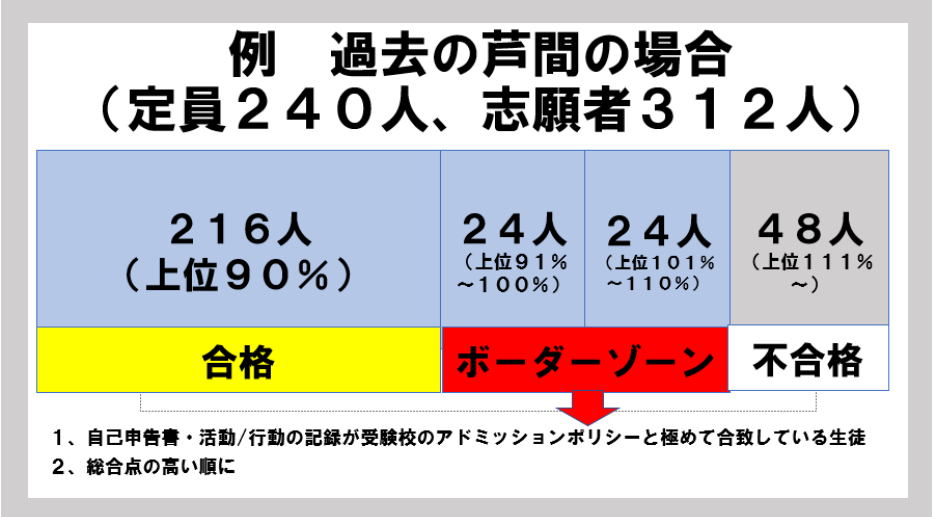
さらに高校ごとに学力検査の成績と調査書（内申点）の比率が設定されます(例年7月ごろに公表)。Ⅰ型からⅤ型までの 5 つの「倍率タイプ」になります。これにより、各高校が求める生徒像や学力バランスに応じた選抜が行われます。



総合点を算出した後、その総合点の高い順に受験生を並べ、以下のように分類します。

（Ⅰ）群：募集人員の 110%に相当する上位者。

（Ⅱ）群（ボーダーゾーン）：（Ⅰ）群の中で、募集人員の 90%に達しなかった者。



上の例でいうと、募集人員が 240 名の場合、総合点の上位 264 名が（Ⅰ）群となり、その中で上位 216 名が合格となります。残る48名が（Ⅱ）群、すなわちボーダーゾーンに該当します。ボーダーゾーンの中から、自己申告書や個人報告書を基に各高校のアドミッションポリシーにどれだけ合致しているかで24人の合格者が決まります。

④令和10年度からの新入試制度の導入について

大阪府教育委員会は、2028 年度（令和 10 年度：現中1が受験予定）の府立高校の入試制度を大幅に改革する方針を発表しています。下記に示しているものは 2025 年1月時点での案であり、詳細は今後発表されていくものと思われます。

①入試日程の一本化

・・現在は「特別選抜」「一般選抜」の 2 回に分かれていますが、1 回の試験に統合されます。

・・試験は 3 月初旬の実施を想定されています。

②第 2 志望の高校にも出願可能

・第 1 志望と第 2 志望を同時に出願可能になります。

・同じ試験結果をもとに、空きがあれば第 2 志望でも合否判定されます。

③「学校の特色」を活かした選抜の導入

・各高校が定員の最大 50%までを特色枠として設定。

・・面接・作文・実技など、学力以外の意欲や適性も評価されます。

その他・・・英検資格(2 級以上)の活用の読み替え率の引き下げ

○　一般入学者選抜（全日制の課程（調査書を要しない選抜を除く。））

＜Step１＞

学 力 検 査

教科	国語	社会	数学	理科	英語	学力検査の成績（①）
配点	90点	90点	90点	90点	90点	450点

調　査　書

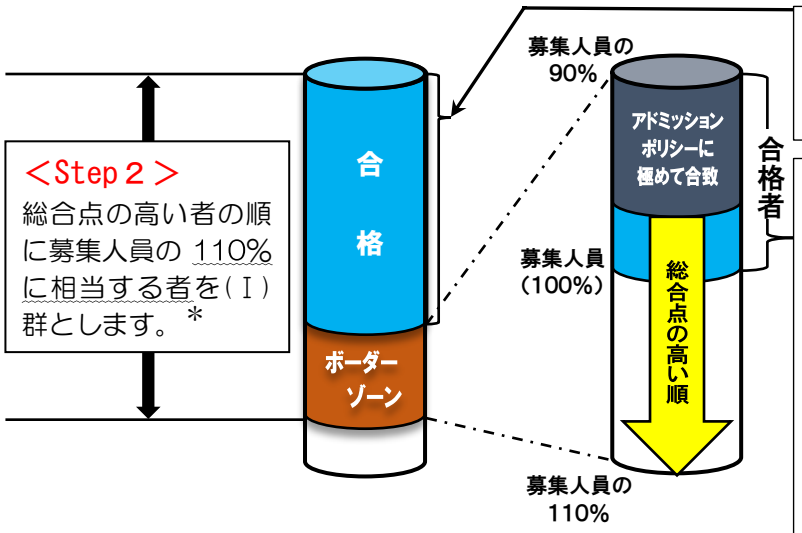
９教科の評定は各50点（3学年の評定×6倍＋2学年の評定×2倍＋１学年の評定×2倍）とする。
（９教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術･家庭、英語）

調査書の評定（②）
450 点

総　合　点

高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定したタイプにより、「学力検査の成績（①）」と「調査書の評定（②）」にそれぞれの倍率をかけて合計し、総合点を算出。

タイプ	学力検査の成績（①）にかける倍率（点数）	調査書の評定（②）にかける倍率（点数）	総合点	【参考】学力検査の成績：調査書の評定
Ⅰ	1.4倍（630点）	0.6倍（270点）	900点	７：３
Ⅱ	1.2倍（540点）	0.8倍（360点）		６：４
Ⅲ	1.0倍（450点）	1.0倍（450点）		５：５
Ⅳ	0.8倍（360点）	1.2倍（540点）		４：６
Ⅴ	0.6倍（270点）	1.4倍（630点）		３：７



＜Step３＞
(Ⅰ)群の中で総合点の高い者から募集人員の90%に相当する者を合格とします。＊

(Ⅰ)群の中で合格が決まっていない者を(Ⅱ)群（ボーダーゾーン）と呼びます。

＜Step４＞
ボーダーゾーンの中からは、自己申告書、調査書の「活動/行動の記録」の記載内容がその高校のアドミッションポリシーに極めて合致する者を優先的に合格とします。

＜Step５＞
＜Step４＞による合格者を除き、改めて総合点の高い者から順に募集人員までを満たすまで合格者を決定します。

＊　総合点の同点者がいるために、90%、110%に当たる者を確定できない場合は、その同点者も含めた人数までを募集人員の90%、110%に相当する者とする。

複数の学科等を設置している高等学校について

1　特別入学者選抜及び一般入学者選抜において、
　募集人員を複数の学科等ごとに設定している高等学校では、他の１学科等を第２志望とすることができる。

（例）〇〇高校：第１志望「グローバル科」、第２志望「普通科」
　　□□高校：第１志望「大学進学専科」、第２志望「総合募集の専科」
　　△△高校：第１志望「多部制単位制Ⅰ部」、第２志望「多部制単位制Ⅱ部」など

2　合格者の決定方法

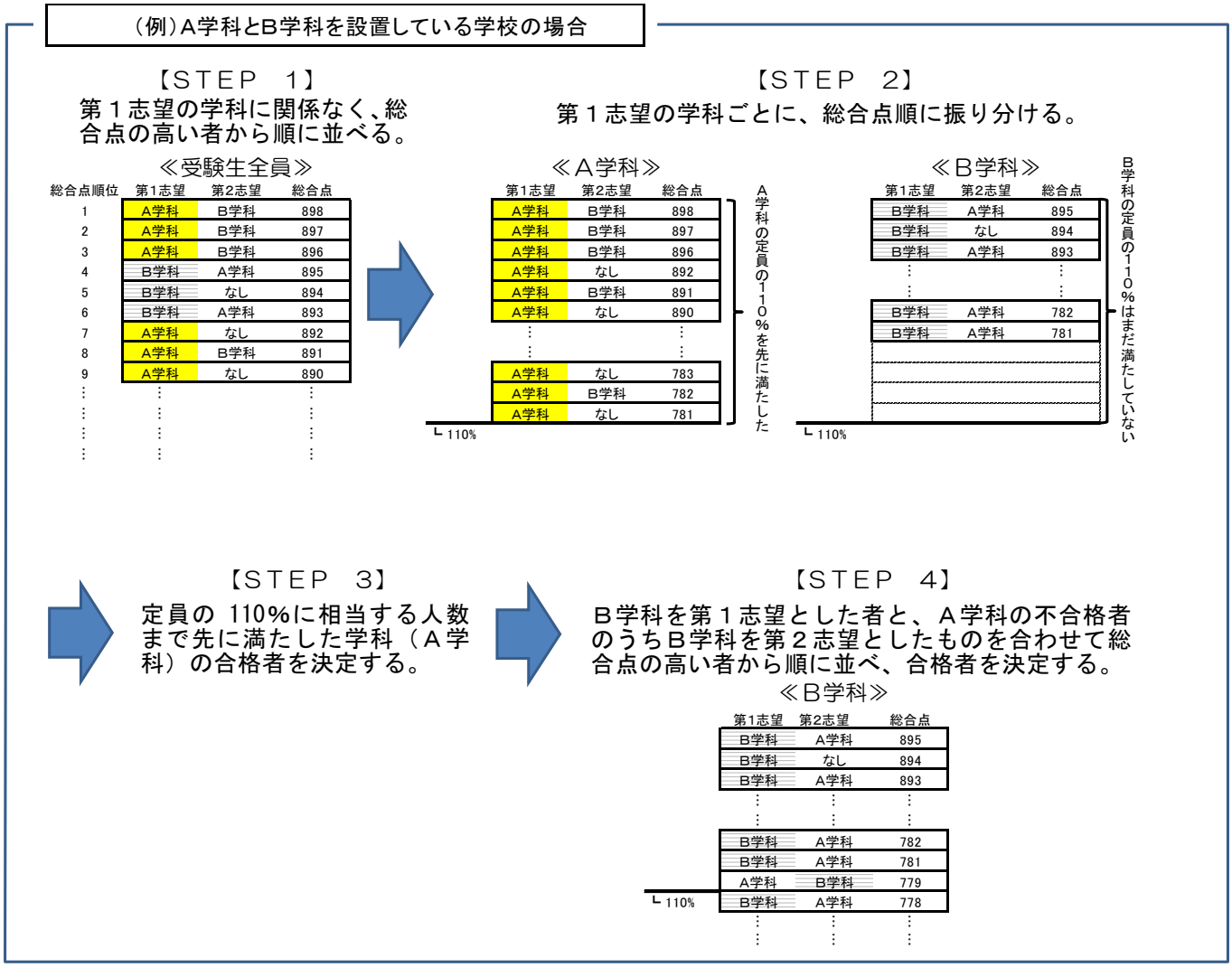
（１）実技検査を実施する特別入学者選抜及び一般入学者選抜

【STEP１】受験生を、第１志望の学科等に関係なく総合点の高い者から順に並べる。

【STEP２】総合点の高い者から順に、第１志望の学科等に振り分ける。

【STEP３】募集人員の 110%に相当する人数まで、第１志望の者で先に満たした学科等から合格者を決定する。

【STEP４】決定された合格者を除き、もう一方の学科等を志望している者を第１志望、第２志望に関わらず総合点の高い者から順に並べ、合格者を決定する。



（２）面接を実施する特別入学者選抜

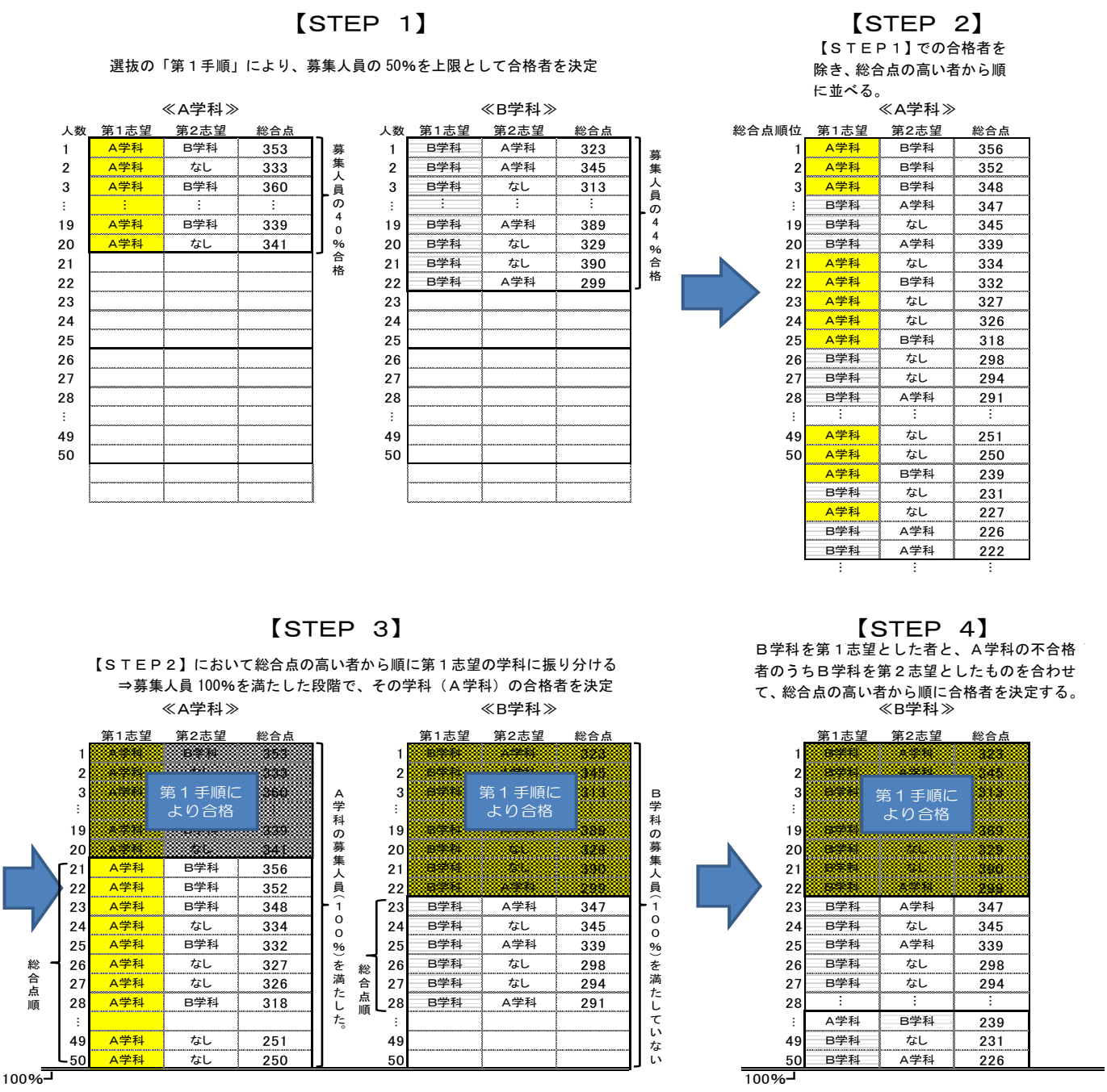
【STEP１】第１手順として、学力検査の成績が、府教育委員会が別に定める基準に達した者の中から、学科等の第１志望の者を対象として、アドミッションポリシーに最も適合する者から順に、当該学科等の募集人員の 50%を上限として合格者を決定する。

【STEP２】第１手順による合格者を除き、第１志望の学科等に関係なく総合点の高い者から順に並べる。

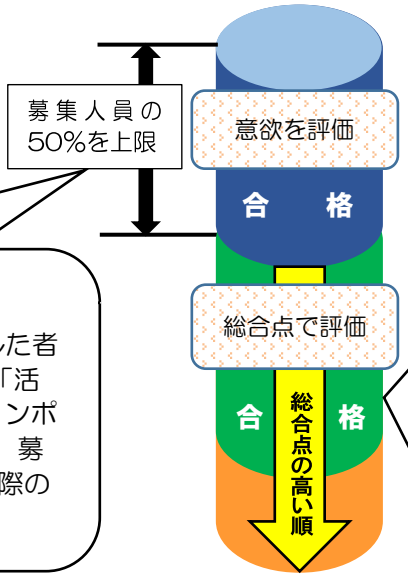
【STEP３】総合点の高い者から順に、第１志望の学科等に振り分け、先に募集人員（100%）を満たした方の学科等の合格者を決定する。

【STEP４】決定された合格者を除き、もう一方の学科等を志望している者を第１志望、第２志望にかかわらず総合点の高い者から順に並べ、合格者を決定する。

（例）A学科とB学科を設置している学校の場合（ともに募集人員を50名とする。）



特別入学者選抜（令和６年度）
≪面接を実施する場合（ステップスクールを除く）≫



＜Step１＞
学力検査の成績が、府教育委員会が定める基準に達した者の中から、A＝面接、B＝自己申告書、C＝調査書の「活動/行動の記録」を資料として、「学校のアドミッションポリシー（求める生徒像）」に最も適合する者から順に、募集人員の 50%を上限として合格者を決定する。その際の評価の比率は、A：B：C＝２：１：１とする。

＜Step３＞
第一手順による合格者を除き、総合点の高い者から順に、募集人員を満たすまで合格とする。

＜Step２＞

学 力 検 査

教科	国語	社会	数学	理科	英語	学力検査の成績（①）
配点	45点	45点	45点	45点	45点	225点

調　査　書

9教科の評定は各25点（3学年の評定×３倍＋2学年の評定×１倍＋１学年の評定×１倍）とする。
（９教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術･家庭、英語）

調査書の評定（②）
225 点

総　合　点

高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定したタイプにより、「学力検査の成績（①）」と「調査書の評定（②）」にそれぞれの倍率をかけて合計し、総合点を算出。

タイプ	学力検査の成績（①）にかける倍率（点数）	調査書の評定（②）にかける倍率（点数）	総合点	【参考】学力検査の成績：調査書の評定
Ⅰ	1.4倍（315点）	0.6倍（135点）	450点	７：３
Ⅱ	1.2倍（270点）	0.8倍（180点）		６：４
Ⅲ	1.0倍（225点）	1.0倍（225点）		５：５
Ⅳ	0.8倍（180点）	1.2倍（270点）		４：６
Ⅴ	0.6倍（135点）	1.4倍（315点）		３：７

≪実技検査を実施する場合≫

＜Step１＞

学 力 検 査

教科	国語	社会	数学	理科	英語	学力検査の成績（①）
配点	45点	45点	45点	45点	45点	225点

調 査 書

９教科の評定は各25点（3学年の評定×３倍＋2学年の評定×１倍＋１学年の評定×１倍）とする。
（９教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術･家庭、英語）

調査書の評定（②）
225 点

⇨ 高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定したタイプにより、「学力検査の成績（①）」と「調査書の評定（②）」にそれぞれ倍率をかけて合計する。　…　③

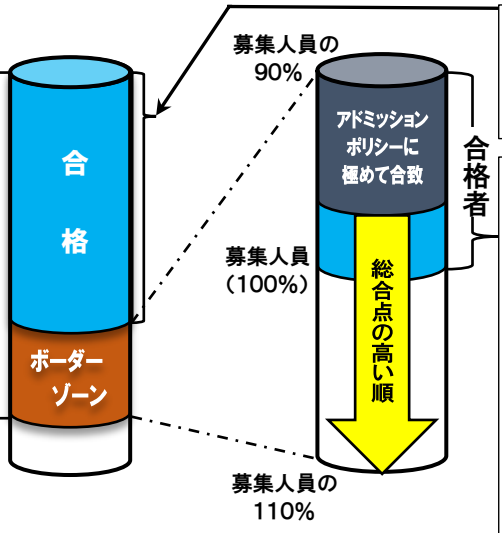
タイプ	学力検査の成績（①）にかける倍率（点数）	調査書の評定（②）にかける倍率（点数）	③（①+②）	【参考】学力検査の成績：調査書の評定
Ⅰ	1.4倍（315点）	0.6倍（135点）	450点	７：３
Ⅱ	1.2倍（270点）	0.8倍（180点）		６：４
Ⅲ	1.0倍（225点）	1.0倍（225点）		５：５
Ⅳ	0.8倍（180点）	1.2倍（270点）		４：６
Ⅴ	0.6倍（135点）	1.4倍（315点）		３：７

実 技 検 査

学　　科	配　点
工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、デザインシステム科、ビジュアルデザイン科、映像デザイン科及びプロダクトデザイン科）、総合造形科、美術科、音楽科、演劇科	150点
体育に関する学科	225点
グローバル探究科、芸能文化科	100点

総 合 点 ＝ ③ ＋ **実 技 検 査** の成績

＜Step２＞
総合点の高い者の順に募集人員の 110%に相当する者を(Ⅰ)群とします。＊



＜Step３＞
(Ⅰ)群の中で総合点の高い者から募集人員の90%に相当する者を合格とします。＊

(Ⅰ)群の中で合格が決まっていない者を(Ⅱ)群（ボーダーゾーン）と呼びます。

＜Step４＞
ボーダーゾーンの中からは、自己申告書、調査書の「活動/行動の記録」の記載内容がその高校のアドミッションポリシーに極めて合致する者を優先的に合格とします。

＜Step５＞
＜Step４＞による合格者を除き、改めて総合点の高い者から順に募集人員までを満たすまで合格者を決定します。

＊　総合点の同点者がいるために、90%、110%に当たる者を確定できない場合は、その同点者も含めた人数までを募集人員の 90%、110%に相当する者とする。

８.学費について

○大阪府高校授業料無償化制度について

授業料無償化とは？

国が交付する補助金に加えて、大阪府がさらに補助金を上乗せすることで
保護者の授業料負担が実質無償※となるものです。

※制度が定める補助要件を満たす必要があります。

今までは世帯の所得や子どもの人数によって授業料負担額が変わっていましたが、令和８年度入学性より授業料が完全無償化になります。申請手続きは入学後に高校を通じて行いますので、入学前の手続きは不要です。国の就学支援金と大阪府の授業料支援制度両方の申請が必要です。高校からの案内に従って必ず手続きを行ってください。学校によっては一旦授業料を納める必要がある場合があります。また、授業料が標準授業料額（全日制：63 万円、通信制：1 単位あたり 12,030 円）を超える学校については、納付額が発生する場合があります。

＜参考＞

大阪府私学連のホームページによる詳しい説明。→　コチラより

説明動画　→　コチラより

大阪府

中学生の生徒・保護者のみなさんへ

令和６年度版

高校授業料無

※昨年度の案内です。ご注意ください！

何が変わるの？

◆ 私立・公立高校ともに、<u>所得や子どもの人数にかかわらず授業料負担がなくなります。</u>
◆ <u>府外の高校等(※)に通う場合も授業料無償化の対象</u>となります。

※私立は、就学支援推進校に指定された高校等
（ページ下部のQRコードより確認できます。）

いつから変わるの？

◆ <u>高校に入学する年度によって制度が変わります。</u>

令和７年度入学（現中３）：高校２年生時（令和８年度）から無償
※令和７年度は一部授業料負担が生じる場合があります。
令和８年度入学（現中２）：高校１年生時（令和８年度）から無償
令和９年度入学（現中１）：高校１年生時（令和９年度）から無償

学年別・進路別の授業料負担額をチェック

現在の中学3年生

①進学先は私立？公立？※1　②世帯年収（めやす）は？

①進学先 ②世帯年収	子どもの人数は？	高校1年生	高校2年生	高校3年生
① 私立　② 590万円未満		無償	無償	無償
① 私立　② 590～800万円	3人以上	無償	無償	無償
① 私立　② 590～800万円	2人	10万円	無償	無償
① 私立　② 590～800万円	1人	20万円	無償	無償
① 私立　② 800～910万円	3人以上	10万円 ※2	無償	無償
① 私立　② 800～910万円	2人	30万円 ※2	無償	無償
① 私立　② 800～910万円	1人	最大48万円 ※2	無償	無償
① 私立　② 910万円以上		授業料全額	無償	無償
① 公立　② 910万円未満		無償	無償	無償
① 公立　② 910万円以上		118,800円	無償	無償

（※1）大阪府内の私立高校（全日制）、府立高校（全日制）に進学した場合の例です。
私立高校等は、大阪府が指定する就学支援推進校であることが必要です。

（※2）<u>授業料が60万円を超える学校は、表示の額に加え、「授業料－60万円」の負担が生じます。</u>
【例】授業料65万円の場合、5万円は保護者負担（65万円－60万円＝5万円）

現在の中学2年生以下

私立・公立高校ともに、高校1年生時から授業料が全額無償になります。

就学支援推進校の一覧

高校授業料無償化 Q&A

授業料以外も無償になるのですか？

入学金や制服代、修学旅行積立金等は無償化の対象ではありません。
入学時の資金調達にお困りの場合は、大阪府育英会の無利子貸付制度がありますので、予約募集にお申し込みください。
※申込締切：令和6年10月上旬頃

世帯所得に関係なく全員が無償になるのであれば、授業料無償化のための手続きは不要ですか？

私立・公立ともに国の就学支援金と大大阪府の授業料支援制度両方の申請が必要です。
申請は、入学後に高校等を通じて行うため、入学前の手続きは不要です。

進学先の私立高校等が授業料無償化の対象校（就学支援推進校）かどうか知りたい。

裏面の就学支援推進校一覧のQRコードより確認できます。

他府県の私立高校や国公立高校への進学を考えていますが、授業料無償化の対象かどうか知りたい。

他府県の情報について、私立高校等については、裏面の就学支援推進校一覧のQRコードより確認できます。
公立高校等については、以下のQRコードよりご確認ください。

通信制高校も授業料が無償になりますか？

大阪府内の通信制高校（私立は、就学支援推進校に限る）についても、全日制と同様に令和6年度から段階的に所得制限を撤廃し、令和8年度に全ての生徒について所得制限がなくなります。

詳しくはこちらにお問い合わせください

府民お問い合わせセンター ピピっとライン

06-6910-8001

大阪府 私立 無償化

詳細はホームページからご覧いただけます。

私立高校等

公立高校等

大阪府育英会の奨学金とは

高等学校等に進学を希望する方や在学している方を対象に、入学金などの費用、授業料、その他必要な費用（教材費など）を無利子でお貸しするものです。

■ 奨学資金の種類

入学時増額奨学資金 **※注 意※**	高等学校等（中等教育学校の後期課程を除く）への入学時に必要な経費の支払に充てるため、 **高校等入学前**に貸付する学資
奨学資金	高等学校等の授業料及びその他修学に必要となる経費の支払に充てるため、**高校等在学** に貸付する学資

※注 意※　入学時増額奨学資金は、予約募集時のみ申し込むことができます。

詳しくは　奨学金の貸付を受けたい方へ　をご覧ください。

例年９月頃に申し込みが始まります。申し込みの案内は学校に案内が届き次第、お子様を通じて配布させてもらいます。申請には、住民票の提出やお子様名義の口座などご準備頂くことが多くあります。

「入学時増額奨学資金」については、このタイミングでしか申し込むことが出来ません。

＜参考＞

大阪府育英会のホームページ　→　コチラより